



月1回、マンションの集会所で開催して、4月で丸8年が経ちました。毎月いかにしたらひとりでも多くの皆さんに来ていただけるかを考えて、ボランティアで協力し合いながら活動をして来ました。

コロナ前はバス旅行などを中心に盛り上がりを見せましたが、この2年は感染状況により休会を余儀なくされる月もありました。飲食も水分補給に限られています。感染予防によりプログラムも制限され、魅力ある内容を考えることが大変になっています。

活動の中心は介護予防・健康増進と考え、理学療法士の先生や保健師さんに来所いただいて学んだり、ボランティアが講師となりコグニサイズを行うなど、健康管理に役立つようなプログラムを

組み立てています。また人生を楽しむという視点から、中央林間の森へのハイキングなどで自然に触れたり、絵手紙、手芸、ぬり絵、映画鑑賞など、コロナ禍でもできることを工夫しながら取り入れています。

色々な活動を通して最も大切にしているのは、ご近所のみなさんと顔の見える関係を作ること。コミュニティとしてみんな仲良く、助け合っていければ、どんな困難な社会状況になっても乗り切っていけると思います。



### 私の健康法

#### ボランティア活動が元気のもと

こまつ ひろかず  
公所 小松 寛和さん



私は、諏訪湖の上に富士山が見える長野県岡谷市に生まれ、94歳になります。18歳で就職後、昭和38年に中央林間のピクサーの隣に工場を建設する担当者として大和市中に転勤しました。工場建設後退職し、技術を生かして鉄工場を経営していましたが、バブルの崩壊で廃業。ちょうど61歳頃でしたが、何もすることがなく退屈していました。その頃家内が市社協のボランティアセンターで介護講習会を受講し、家内の勧めでボランティアセンターに行ってみることにしました。センターで話を聞いていると、隣で相談している人の話を小耳にはさみました。ご主人が車いすで玄関から出るのに介

助者が数人で抱え上げなければならず、困っているとのこと。そこで、すぐその足でお宅に訪問。玄関に合わせて取り外しできるスロープを作りました。それは便利だということで、その後あちこちから頼まれるようになり、ボランティア活動が忙しくなりました。90歳で車の免許を返納したため、あまり遠くまでは行けなくなりましたが、ちょうど近くにできた地域支え合い協議体「ハート公所つきみ野」で現在もボランティアをしており、週2回くらい行っています。また、地域の小学校の登校時の旗振りもこの19年間毎朝やっています。ボランティアを続け、地域の皆さんと会える、ふだん話したことのない人とおしゃべりできること、それが94歳の現在まで、健康で活動できる元気のもとになっていると感じています。

### 編集後記

2020年1月に新型コロナウイルス感染症が日本に入ってから3年目になります。最近流行っているウイルス株の「オミクロン」が代名詞になっています。ワクチンも4回目接種が進み、ウイルスの撲滅ではなく、コロナウイルスがあることを前提として活動を再開する「ウイズ・コロナ」の時代となりました。当地区社協でも、感染対策を行いつつ様々な活動を再開しつつあります。ただ、たくさんの方が集まったり、飲食しながらおしゃべりするような事業はまだできません。元のような状況に早く戻ることを待たばかりです。

(イラストは坂上の夢耕作氏によるものです)

### インフォメーション

#### 「ケアニン〜こころに咲く花〜」

大和市社会福祉協議会では、これからの福祉を支える人材育成のために映画上映会を開催します。「『ケアニン』とは、介護・看護・医療・リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人」です。介護職員の苦悩を伝えつつも、それに勝る「魅力」を発信する素敵な映画となっています。皆様、お誘いあわせの上足をお運びください。

(事前申し込みが必要です)

日 時：8月18日(木) 13:30~16:00(開場：13時)  
場 所：やまと芸術文化ホール サブホール  
申込み：046-260-5643(やまとボランティアセンター)



社協のマークです



福祉の心を育てよう

下鶴間つきみ野地区社協だより

# おりづる

発行兼編集

大和市下鶴間つきみ野地区  
社会福祉協議会  
会長 濱田 和博

事務所

大和市下鶴間2516-2  
大和市コミュニティセンター  
下鶴間会館内  
電話 (046)276-3407

## 「愛の小箱」のお話を!!

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会

会長 濱田 和博

日頃、地区社協の活動にご協力を賜り感謝申し上げます。令和4年度の理事会・評議員会も無事終了して、ウイズコロナを見据えた活動を進めて参りたいと考えています。

さて、皆様から毎年貴重な浄財を頂いている「愛の小箱」のお話をさせてください。本市では、昭和60年12月に大和市社協の要綱に愛の小箱の設置運営の規定がされ、「愛の小箱」による寄付の活動が始まりました。

もともとは、昭和37年に徳島県が技術、労力、金品等の預託を受け社会福祉に貢献する善意銀行運営事業を始め、それが全国に波及しました。その流れを受け、大和市社協が地域の商店等の協力により、寄付を集めるツールとして「愛の小箱」の名称で寄付金箱を設置したのが始まりです。当地区社協で

は昭和62年から「愛の小箱」を設置し、地域の41店舗に募金箱が置かれ、地域福祉活動の財源として各商店等にご協力いただいて始めたものです。

現在では、その数も13店舗に減少していますが、今後とも地域福祉活動の貴重な財源ですので、設置場所を広げていきたいと考えます。地域の皆様、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

#### 「愛の小箱」設置協力店マップ



つきみ野自治会館の「愛の小箱」

### 愛の小箱

2021年度は、総額**34,998円**集まりました

#### 「愛の小箱」設置協力店

(順不同・敬称略)

榎本商店	下鶴間コミセン	つきみ野自治会館
山金商店	美容室たんぼぼ	中華キッチン彩々
下鶴間郵便局	雀荘ちよんぼ	クリーニングコクエ
花物語やまと	会津クリーニング	大和外科内科クリニック
公所コミセン		

ご寄附いただいた皆様、協力店様ありがとうございました。いただいた浄財は地区社協の事業や様々な活動に活用されており、地域の皆様に喜ばれています。

これからもご協力よろしくお願いたします。

## 2022年の事業方針(抜粋)と重要な取り組みについて

当地区社協は、共に支え合う福祉のまちづくりのため、多くの関係団体やボランティアの協力により地域福祉の一翼を担ってきました。しかしこの2年間は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域福祉事業が規制され十分な活動が行われない状況でした。国においても、「地域共生社会の実現に向けて、地域福祉の推進の理念(我が事・丸ごと)」を明記した社会福祉法改正が平成31年に行われ、市町村においては、住民の地域生活課題についての総合的相談対応の整備など包括的な支援体制の整備等の推進が求められてきました。ウイズコロナの新しいライフスタイルがもたえられる時代、当地区社協においても、「ミニサロン事業」や「ふれあい訪問事業」、「個別支援活動」など、住民どうしの支え合い活動の重要性を再認識するとともに、多くの人が一堂に集う催しなどのあり方も研究してまいります。

生活支援体制整備事業(協議体の推進)に基づく拠点整備や、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりのため、地域福祉推進の原動力として事業の発展を図ってまいります。

### 2021年度予算と2022年度予算

収入面では、地区社協活動助成金、市社協会費還元金の減少を見込んでおります。支出面では事業費のうち高齢者事業費を増加し、ウイズコロナ時代の活動を推進できるよう配慮しました。一方で、事務・会議・交際費は減少させ、効率的な運営を進めることとしております。

(単位:円)

収入	2021年度予算	2022年度予算
市社協助成金・市補助金	1,338,600	1,312,000
市社協会費還元金	900,000	890,000
収益金・雑収入・負担金	210,000	210,000
寄付金収入	40,000	30,000
前年度繰越金	937,402	937,231
収入合計	3,426,002	3,379,231

(単位:円)

支出	2021年度予算	2022年度予算
事業費	1,872,000	1,922,000
広報・研修・調査費	160,000	160,000
事務・会議・交際費	428,000	353,000
助成金(民児協・自治会)	300,000	300,000
積立金	200,000	200,000
雑費・予備費	466,002	444,231
支出合計	3,426,002	3,379,231

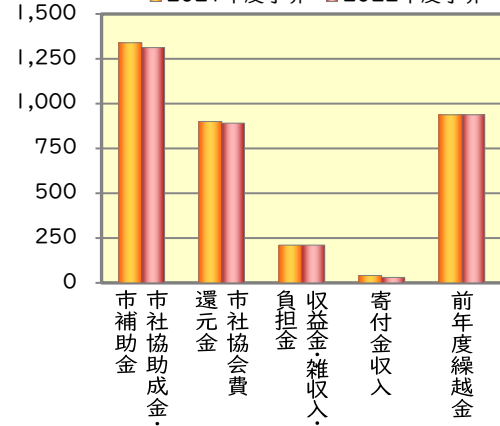
(単位:円)

支出(事業費内訳)	2021年度予算	2022年度予算
高齢者事業費	1,482,000	1,532,000
障がい者事業費	40,000	40,000
児童事業費	65,000	65,000
地域交流事業費	35,000	35,000
ボランティア活動費	100,000	100,000
賀詞交歓会費	150,000	150,000



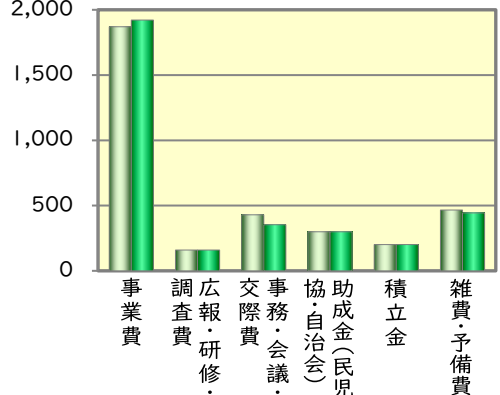
### 収入

(単位:千円) ■ 2021年度予算 ■ 2022年度予算



### 支出

(単位:千円) ■ 2021年度予算 ■ 2022年度予算



## 地区社協からの話題・でんごん板

### さくらフォトコンテスト2022を開催しました

例年当地区社協で開催していたお花見会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、3年続けて中止となりました。毎年楽しみにいただいている高齢の方や障がいのある方に少しでも下鶴間つきみ野地区の桜を楽しんでもらいたいと、昨年「さくらフォトコンテスト2021~桜よ届けプロジェクト~」を企画したところたくさんの方から素敵な写真が寄せられ、最優秀賞の作品をポストカードにして地域の高齢者等にお届けし、大変喜ばれました。

そこで、今年も「さくらフォトコンテスト2022」を開催したところ、28名の方から79枚の素敵な写真が寄せられました。当地区社協役員会で厳正な審査を行い、入賞者を決定しました。

また、今年も「青少年賞」を新設し、9歳と13歳の応募者が表彰されました。

最優秀作品は昨年好評だったため、昨年の倍のポストカードを印刷し、高齢者等に配布する予定です。



最優秀賞「リラ丘公園の夜桜」  
下鶴間在勤 加藤 恵さんの作品  
(撮影地 下鶴間リラの丘公園)

	作品名	受賞者	居住地
最優秀賞	リラ丘公園の夜桜	加藤 恵さん	林間(下鶴間在勤)
優秀賞	春の訪れ	利根川基幸さん	下鶴間
優秀賞	桜と新緑の散歩道	竹内 義高さん	つきみ野
優秀賞	咲き誇る桜	柳泉 博美さん	つきみ野
青少年賞	夕日に包まれた桜	原田みのりさん	下鶴間
青少年賞	満開の桜	田口 紗衣さん	下鶴間

### 私とボランティア

小学校でボランティアをさせて頂くようになり13年目になります。大和小学校を始め、大野原小学校へ、そして現在は深見小学校へ行っています。お手伝いの内容は、外国籍、日本国籍を問わず、各学年、各クラスで少々遅れが出てしまった生徒の国語か算数(両方の生徒もいます)の学習支援です。クラスの授業で少し理解することが難しくなっている子どもをクラスの担任が早く見つけ出し、国語・算数の授業時間に教室から出てきてもらい別の教室にてマンツーマンで学習します。その授業が終わると自分のクラスに戻り他の教科は皆と一緒に授業を受けます。1年生から6

### ずっと続けたいボランティア

年生まで男子も女子もおり、数人が来ています。子どもたちは皆素直でとても良い子たちばかりです。

地区社協では、ミニサロン「サロン大和原」が発足して11年、発足時からボランティアとして参加させて頂いています。また、昨年より個別支援として、車椅子での買い物支援ボランティアもしています。月に2回ですが毎回とても楽しみに待っていて下さいます。3つのボランティアを経験し、大変なこともあります。これからも出来る限り長く続けていきたいと思っています。

こばやし ふみこ  
大和原 小林 ふみ子さん



## 今年の事業・行事の開催について

新型コロナウイルス感染症蔓延の状況により、事業・行事開催の可否、日程・内容などが変わります。開催する場合は、その都度掲示板等で広報します。